

殺虫剤

殺虫剤分類 1A

オンコル[®] 粒剤 5



初期のクロゲハナアザミウマ対策に！

- ★高い浸透移行性により成長の盛んな部分を含め植物全体害虫から守ります
- ★合成ピレスロイド剤・有機リン剤やジアミド剤抵抗性害虫に高い効果を示します
- ★粒剤散布によりアザミウマ類のローテーション防除をサポートします



農林水産省登録

第16575号

有効成分：ベンフラカルブ…5.0%

毒性：普通物

有効年月：4年

規格：3Kg×8袋/ケース

系統：カーバメート系



【適用害虫と使用方法】（※キクのみ抜粋）

作物名	適応病害虫	使用量(10a当り)	使用時期	使用回数	使用法	総使用回数
花き類・観葉植物 (キクストックを除く)	アザミウマ類	6Kg	生育期	3回以内	株元散布	4回以内
きく	ミナミキイロアザミウマ	6~9Kg	定植時	1回	植溝土壌混和 又は株元散布	
	ミカンキイロアザミウマ	9Kg	生育期	3回以内	株元散布	



OAT アグリオ株式会社 名古屋営業所

〒460-0002
 愛知県名古屋市中区丸の内1-9-16
 丸の内Oneビルディング6階
 TEL：052-253-7137

沖縄県キク クロゲハナアザミウマ 試験成績

(沖縄県農業研究センター 2019年)

●試験概要

沖縄県では最も問題となっている害虫としてクロゲハナアザミウマがおり、対策として現地では粒剤散布が行われている。そのためクロゲハナに有用な粒剤を探索する目的でキクで登録のある7剤の比較試験を行った。

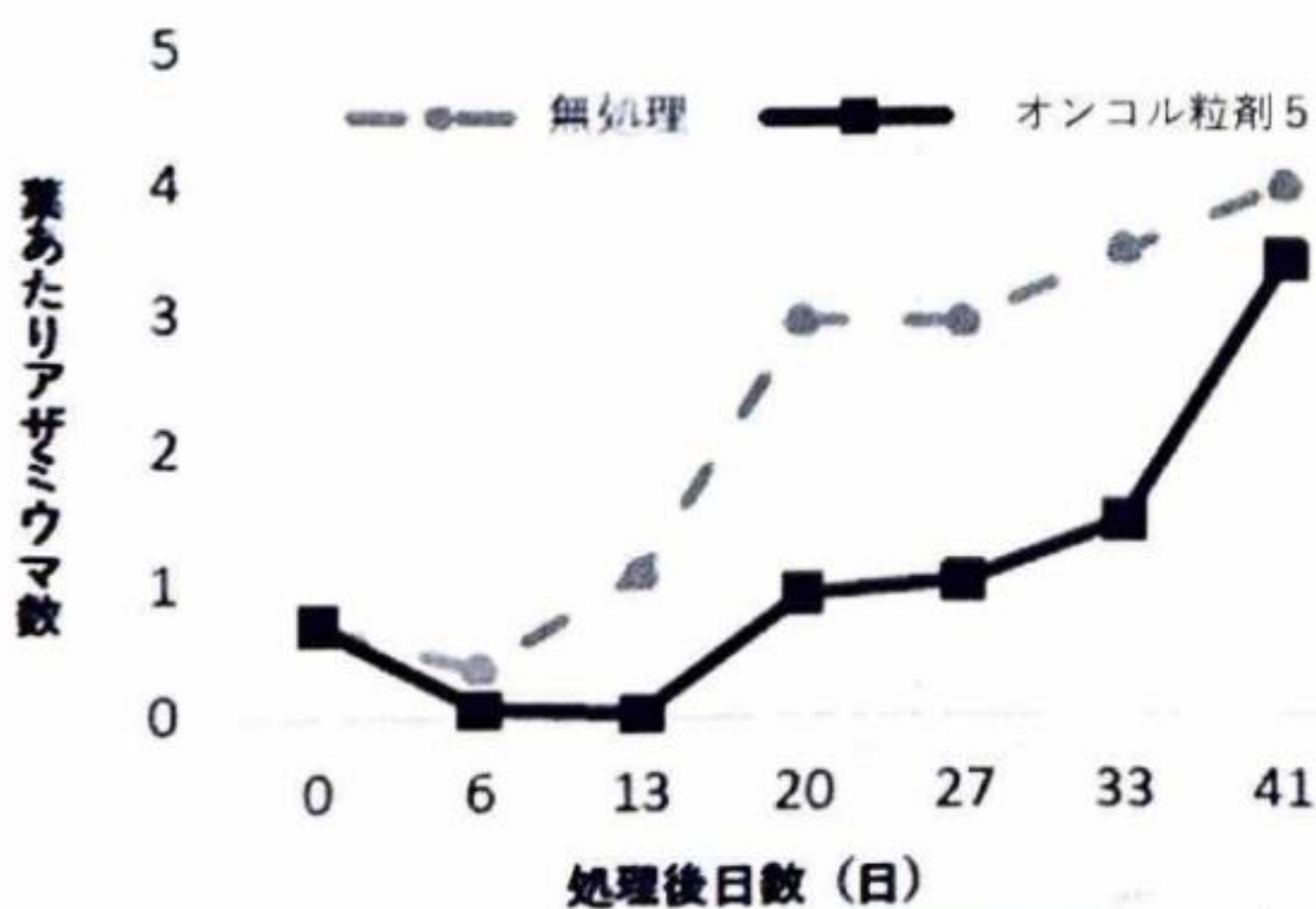
供試薬剤	株あたり 施用量	葉当たりの平均虫数					
		処理前	6日後	13日後	20日後	27日後	33日後
オンコル粒剤5	1g	0.69	0.07	0.03	0.27	0.51	1.09
A剤	1g	0.7	0.12	0.3	0.88	1.16	3.23
B剤	2g	0.63	0.08	0.28	1.52	1.18	1.86
C剤	1g	0.69	0.31	0.69	0.59	1.3	2.6
D剤	2g	0.64	0.22	0.29	1.41	2.17	2.73
E剤	0.3g	0.64	0.22	0.57	1.39	2.03	4.49
F剤	1g	0.69	0.22	0.28	1.34	1.72	3.23
無処理		0.67	0.37	1.08	3.09	4.73	6.57

●結果の考察

※沖縄のキク圃場で発生するクロゲハナアザミウマに有効な粒剤の探索 より抜粋

- ・オンコル粒剤5は粒剤処理前よりも有意に虫数が少なかった。
- ・7剤の中でオンコル粒剤5が最も残効が長く、33日まで効果の持続が確認できた

●キク類におけるアザミウマ類の総合的防除対策マニュアル より



粒剤効果試験



喜久村・貴島 (2014) 調査データより

定植時の粒剤の使用で被害程度に差あり